

# 東海自然誌創刊の頃

杉 山 恵 一\*

## A Memory of the First Publication of Natural History of the Tokai District

Keiichi SUGIYAMA\*

思いがけなく本誌が、1974年に創刊された東海自然誌の継続誌として発刊されることとなり、第3号までの編集にかかわったものとして望外の喜びを感じつつある。第3号が出版された1979年からおよそ30年を経た今日、創刊当時を振り返ると、まるで別の国にいたような思いがする。ちなみに成田空港の開港が1978年である。

ところで、東海自然誌は静岡県自然保護協会を発行母体として発刊された。機関誌は別に「静岡県の自然」があったから、最初から純学術誌としてスタートしたわけである。当時は公害、自然破壊が大手を振ってまかり通った時代で、それに対抗するものとして自然保護運動にも熱い視線が注がれていた。今ではちょっと信じられないことであるが、静岡県自然保護協会の幹部には、いわゆる町の旦那衆が名をつらね、実際に活動にも従事したのである。実はこの雑誌のスポンサーとなってくださった大村俊朗氏もそのようなひとりであり、静岡市内馬場町に現在も繁盛の大村洋品店の御主人であるが、氏の場合はたんなる旦那衆とは少し異なり、自身県下では名の知られた植物学者であり、とりわけ当時清水港を中心に急増しつつあった帰化植物の研究では大きな足跡を残された。氏の業績については創刊号に杉本順一氏による一文がある。

創刊号の「発刊の言葉」は当時静岡県自然保護協会の会長であった櫻場周吉氏（当時静岡大学学長）によるものであるが、そこには現在の静岡県自然史博物館ネットワークにも引き継がれるべき理念が記されている。少々長くなるがその一部を引用することにする。

前略 「本来学問は民衆の手もとにあるべきであります。およそ、科学としての知識は総て専門学者の手によってのみ人々に伝達されるべきものではなく、民衆の間から生まれた生硬な学問としての研究・調査・観察等を通じて伝わってゆくことも大切であります。それは多くの人々に自らのものとして親しみをもって受取られてゆくからであります。各地方に見られる郷土誌とか、博物誌などの刊行がその一つの現われでありまた民衆のための色々な博物館なども一つの姿であります。

この度静岡県自然保護協会のメンバーによって「東海自然誌」が刊行されたのも上記の趣旨からと思います。大学におられる専門家と称する人々のみではなく民間の方々も混じって動物、植物、地学等に関する研究調査の結果を発表する機関誌がこのような形で刊行されることは人々に身近にある学問を自分らにとりもどすと共に、人々に自然との関係をもう一度考えなおしてみる端緒にもなることと思います。このような研究、調査がこれからも続いて発表されるとおもいますが、ねがわくば民間からも優れた篤学の方が多く出て下さることをねがっております。そしてやがては静岡県の自然博物館や科学博物館等の設置となり、それらの機関誌にまで発展することになればうれしいこととおもいます。」後略

---

\* 静岡大学名誉教授，NPO静岡県自然史博物館ネットワーク

Emeritus Professor of Shizuoka University, Network for Shizuoka Prefecture Museum of Natural History

この様に、東海自然誌が博物館の機関誌となることを念願しておられたことが、今回の継続につながったのである。遠からずして静岡県自然史博物館が設立され、本誌がその機関誌となり、櫻場氏の頃からの念願が叶えられることを切望する。その時には、本誌3号までの編集委員を務められた6名の方々のうち、すでに他界された上野実朗、河端政一、杉本順一の各氏も冥界でいかばかり喜ばれることであろうか。

## 東海自然誌 第1号～第3号までの目次

### Back Number Contents of Natural History of the Tokai District

東海自然誌の1号～3号までの各号の目次を掲載します。これらの論文については、NPO法人静岡県自然史博物館ネットワークの以下のWeb siteで、表紙なども含めてpdfファイルで掲載し公開しています。これらの内容について、閲覧およびダウンロードが可能ですので、ご利用ください。なお、4号以降もpdfファイルで掲載されますので、ご利用ください。

掲載URL: <http://www.spmnh.jp/report/index.html>

#### 東海自然誌 第1号

1974年9月1日発行

天城山の植物	杉本順一	1
日本産トリカブトの分類	斎木保久	15
天城山およびその近傍のカミキリムシ	草間慶一	23
シダ植物の孢子形成	近田文弘	60
ラブルベニア菌研究手引	杉山恵一	67
大村敏朗氏略伝	杉本順一	75
雑録		
ヒカゲノカズラの孢子の表面構造について	近田文弘	22

#### 東海自然誌 第2号

1976年7月1日発行

静岡県産のツツジ属の種類とその分布	杉本順一	1
岩岳山の植生	村田 源	19
墓地の地衣類と大気汚染 その1	杉山恵一	23
静岡県におけるメヤブソテツの分布と生態	志村義雄・吉川辰司	28
小笠山の現存植生の成立史と植物相の考察	杉野孝雄	36
南アルプス南部のお花畑飛地の植物	大庭俊司・谷関俊男	42
ベニモンカラスシジミに関する新知見	福井順治	45
静岡県産蜂類目録 その1	池田二三高 (編)	47
佐久間、水窪 (静岡県) の種子植物相	福井順治	65
雑録及び雑報		
岩岳山ツツジ群落保護の現状	近田文弘	22
メヤブソテツの染色体数と無配生殖の関係について	松本 定	35

## 東海自然誌 第3号

1979年5月1日発行

静岡県および山梨県におけるキマダラモドキ (ジャノメチョウ科) の分布	高橋真弓	1
安倍川および大井川流域におけるサンショウウオの分布	森 繁雄	14
南アルプス南部及び安倍川流域周辺の山地における食虫目及び齧歯目 (ネズミ科)	星野次郎	19
墓地の地衣と大気汚染 その2	杉山恵一	26
三島市立公園楽寿園の植物	近田文弘・斉藤全生	30
静岡県のラン科植物	杉本順一	50
大井川上流域のカミキリ 第2報	草間慶一・多比良嘉晃	62
我国における生物学研究の歩み	斉藤全生	72